

米沢の牽引役として地域・業界をリード 積極的な設備投資と多様な人材の活用

1948年設立の同社は、弱電関連メーカーが集積する山形県米沢市にて、長きに渡り時代を先駆けた機械加工による精密部品製造を手掛けている。2018年12月に超精密加工に適した「スマートファクトリー」を目指し新社屋を新設した。新社屋は超精密加工に適した温度、空調管理が可能で、業務効率化を図りやすい環境となっている。顧客の信頼、従業員の満足度を更に高め、雪の多い地元米沢の発展を支えていきたいと考えている。

●所在地	山形県米沢市アルカディア1丁目808-28
●電話/FAX	0238-27-0211/0238-27-0233
●URL	http://okamurakoki.com
●代表者	代表取締役 岡村 茂

●設立	1948年
●資本金	3,000万円
●従業員数	40名



ものづくり補助金活用による効果的な設備導入

2015年度補正ものづくり補助金で導入した5軸マシニングセンターにより、多台持ちができる機械が増え、取付ミスも減少して生産性が向上した。また、2016年度の同補助金で導入した画像測定器により、検査対象への自動焦点合せが可能となり、1作業あたり約30分の時間削減に寄与した。さらに、2017年度の同補助金で導入した「10パレット横型マシニングセンター」は、多パレット化により生産性向上し、夜間は無人生産が可能になった。3年に渡るものづくり補助金の有効活用の結果、業務効率化と付加価値向上が図られ、顧客からのコスト低減要求にも対処可能となっている。



10パレット横型マシニングセンター

暗黙知の形式知化による高品質なものづくり

これまで手書きだった生産情報をIT化することで、納期や品質情報を簡単・スピーディに共有ができ、トレーサビリティも容易になった。また、作業員は、共有した生産情報をもとに問題点や解決策を自発的に考えるようになり、その結果、不良数の削減や納期の順守にも繋がっている。さらに、AIやIoT技術も取込み、暗黙知の形式知化を積極的に行うことで、より高品質な製品製作への取組がなされている。



IT化された生産情報で仕事する従業員

女性、外国人、高齢者の多様な人材が活躍

同社は、社員全体の半数を占める女性社員や高齢者の雇用にも力を入れている。また、外国人実習生を12名受入れ、技術を伝授し、将来の体制整備に備えている。女性が得意とする微細加工等、繊細で時間のかかる手作業は部品ごとに「スキルマップ」を作成して「業務の見える化」を図り、洗浄工程等の軽作業や地元の短距離輸送には60才を超えた高齢者を1名採用して対応している。さらに、将来フィリピンでの生産を検討しており、実習生が帰国後に活躍することで同国の雇用にも貢献できると考えている。



多様な人材が働いている職場の様子